

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆「就活セクハラ」、学生の3割が被害 10月から企業に防止義務

・就職活動やインターン中に、企業の社員からセクシャルハラスメント(セクハラ)を受ける学生は少なくない。性的な言動や身体への接触だけでなく、執拗な食事の誘いなどもセクハラにあたり、国の調査では被害経験者は3割に上る。10月からセクハラを含む就活ハラスメントの防止措置が企業に義務づけられることを前に、企業や大学でも対策が広がる。

◆26年度の実質成長率は0.8%、27年度も0.8% NEEDS予測

・日本経済新聞社の経済・金融データサービス「NEEDS」の日本経済モデルに各種経済指標の情報を織り込んだ予測によると、国内総生産(GDP)の実質成長率は26年度0.8%、27年度も0.8%の見通し。4～6月期の日本経済は民間最終消費支出(個人消費)や設備投資が増加し、三四半期連続でプラス成長の見通し。緩やかな回復基調を維持する。

◆日本のGDP、レアアース止まれば2.3%減 主要国で最大とIMF試算

・レアアース(希土類)の供給が8割減ったら日本の実質GDP(国内総生産)は2.3%減る——。国際通貨基金(IMF)が試算をまとめた。米欧など主要国と比べて打撃が最も大きい。レアアースはハイテク製品の性能向上に欠かせない。IMFは供給量が80%減りすぐに代替できないという条件で、日本、米国、ドイツ、英国、フランス、インドへの経済的影響を試算。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆首都圏の物流施設、4～6月空室率7.7%に低下 JLL調べ

・米不動産サービスのジョーンズラングラサール(JLL)は2026年4～6月の首都圏の大型物流施設の空室率が前年同期比で2.6ポイント低下し7.7%になったと発表。需要が供給を上回り、4四半期連続で空室率が低下。1坪(3.3平方メートル)あたりの賃料は2.8%上昇し4836円。建築費の上昇分が新築物件の賃料に反映されることで、既存物件の賃料も上昇。

◆6月の住宅展示場来場者、全エリアで前年割れ

・住宅展示場協議会と住宅生産振興財団は2026年6月の住宅展示場来場者組数を発表。全エリアで前年割れとなり、来場者組数は17万1820組(前年同月比13.6%減)と大幅に減少。8エリアすべてでマイナスとなったのは、コロナ禍で来場が大きく落ち込んだ2020年5月以来、約6年1カ月ぶり。4～6月の全国来場者数は64万5188組で、対前年同期比3.0%減。

◆改正建築物省エネ法が可決、大規模建築物のLCC届出を義務化

・建築物省エネ法の改正案が参議院本会議で可決。大規模建築物の建築主に対し、ライフサイクルCO2(LCCO2)の排出量や削減計画を、国に届け出る義務を課す。施行日は公布から2年以内。届出制度の対象となるのは延べ床面積5000㎡以上で、事務所などの用途に供されるもの。制度化に向け、今後は評価指針を策定する。

《 注目商品 》

■トーヨーキッチンスタイル、ステンレスレッグデザインのダイニング

・動かずに調理を完結するキッチンに収納・ダイニングなどを組み合わせ、調理、収納、配膳、後片付けまでの移動を最小限にする「ゼロ動線プラス」に、新しいダイニングを追加。正方形、長方形、収納付きのL字型、IH搭載の4つのテーブルタイプをラインナップ。



■傷・汚れがつきにくい金属製手洗いボウル

・ミラタップは、PVDコーティングをほどこした金属製の手洗いボウル「ヴィゼラ」を発売。金属素材の特性を生かした薄型設計と、世界的なカラートレンドを反映した洗面空間のアクセントになる色合いが特徴。表面のPVD加工は、ナノレベルの薄膜で金属をコーティング。



■YKK AP、「リウッドデッキ」の施工性向上

・再生木デッキ「リウッドデッキ 200 EG」「リウッドデッキ 200」をリニューアルし、「リウッドデッキS EG」「リウッドデッキS」として発売。高い耐久性と安定した使い心地はそのままに、施工性と仕上がりの美しさを向上。剛性を上げながら熱反りに配慮した仕様に変更。

